

令和8年度 調布市立第七中学校 全期 指導計画・評価計画表 【2年生 家庭科】

観点 ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

学習単元	観点	単元の評価規準（学習評価表）	具体的評価規準（おおむね満足B）	評価方法・場面	弱点克服
B 衣食住の生活 （食生活） 4月から5月	①	中学生に必要な栄養の特徴を理解する。 1回の食事を目で見えて栄養バランスがとれているか判断できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 中学生の1日に必要な食品の種類と概要について理解している。 自分の食生活の課題を把握し設定できる。 自分の食生活の課題解決に向けて考えをまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> プリント 振り返りカード 	<ul style="list-style-type: none"> 対話的助言
B 衣生活・住生活 6月～10月	①	<ul style="list-style-type: none"> 布を用いた物の構成や製作方法について理解する。 基本的な道具の扱い方がわかる。 地域の様々な災害に備えて、防災について考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全で能率よく、布を用いた物の製作をすることができる。 衣服の着用目的、縫製箇所に適した縫製方法で縫うことができる。 縫製道具の正確、安全な取り扱いができる。 用途に合わせ材料や用具の選択ができる。 用具の安全な取り扱いについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> プリント 定期考査 小テスト 作品 	<ul style="list-style-type: none"> 被服室内の個別サポートコーナーでの対話的助言 質問教室 未提出者連絡
	②	<ul style="list-style-type: none"> 製作に必要な材料、用具、製作手順、時間など、先を見通した実習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 製作計画や方法について、作業効率や安全性を考えて製作方法を工夫している。 		
	③	<ul style="list-style-type: none"> 布を用いた物の製作に関心をもって取り組むことができる。 「防災バッグ」が完成したら自分の生活のどの場面でどのように活用するか目的をもって意欲的に製作することができる。 非常時の生活用品について考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 布を用いた物の製作に関心をもって取り組み、自分の生活を豊かにしようとしている。 自分や家族の衣生活をより良くすることに意欲をもち、製作や調査などの計画や実践に意欲的に取り組もうとしている。 		

B 食生活 11月～12月	1	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の選択と簡単な日常食の調理の基礎的な知識を身に付けている。 ・食品の選択と簡単な日常食の調理に基礎的な技術を身に付けている。 調理実習① 肉の調理 調理実習② 魚の調理 調理実習③ 和食の基本（一番だし）	<ul style="list-style-type: none"> ・時間内に判で工夫・協力して、実習を進めることができる。 ・肉の調理上の性質を理解して肉の調理をすることができる。 ・魚の調理上の性質を理解して魚の調理をすることができる。 ・昆布と鰹節のうまみ成分について理解して和食の基本である一番だしをとることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・プリント振り返りカード 	<ul style="list-style-type: none"> ・被服室内の個別サポートコーナーでの対話的助言
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活について見直し食品の選択と簡単な日常食の調理に関する課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫し創造する。 		<ul style="list-style-type: none"> ミニ課題レポート（授業内完結型） 	<ul style="list-style-type: none"> ・被服室内の個別サポートコーナーでの対話的助言
C 消費生活と環境 1月から2月	1	<ul style="list-style-type: none"> ・物資とサービスの特徴がわかる。 ・消費生活のしくみがわかる。 ・販売方法の特徴がわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物資とサービスの選択、購入および活用について必要な情報を収集・整理することができる。 ・消費者の基本的な権利と責任について理解している。 ・中学生に関わりの深い販売方法の特徴について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント ・定期考査 ・作品（誇大広告） 	<ul style="list-style-type: none"> ・質問教室 ・被服室内の個別サポートコーナーでの対話的助言
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・生活情報の収集や活用のしかたを理解し、それをふまえた広告作りの工夫ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者を惹きつける広告の工夫ができる。 		
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な販売方法に関心をもち、その利点と問題点について考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の消費生活について関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる 		

<p>B住生活</p> <p>2月から3月</p>	<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康で安全に住む工夫ができる。 ・住まいのはたらき、健康で安全な 住み方に関して基礎的技術がわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の生活の場としての住居の機能について関心を持っている。 ・安全で快適な室内環境に関心を持ち、 整え方や住まい方の課題に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント ・定期考査 ・実技テスト ・振り返りカード 	<ul style="list-style-type: none"> ・質問教室 ・被服室内の 個別サポート コーナーでの 対話的助言
---------------------------	----------	--	--	--	---